鰍沢中部小学校だより せおと

平成２４年４月２３日　No.１　発行者　校長　岡崎紀子

本年度もよろしくお願いします

平成２４年度は、児童１１名と職員８名でスタートしました。始業式では、私が春休みの宿題として課しました次の２点について発表してもらいました。

☆中部小学校をもっともっとよい学校にするにはどうしたらよいか。

☆自分がもっともっとよい子になるためにはどうしたらよいか。

卒業式で在校生の送る言葉として、卒業生に「中部小学校の伝統を引き継いで、もっともっとよい学校にしていきます」と宣言したことを受けての各自への宿題でした。全員が宿題を忘れることなく、平成２４年度の幕開けにふさわしい発表になりました。（内容は裏面をみてください）真剣に考えて堂々と発表する姿から、私ども教職員も１１人の児童に負けないように、よい学校にするために力を結集してがんばります。よろしくお願いします。

次の文は、文集「せおと５３号」に掲載しました出会いについて書いた文です。今年度もさまざまな出会いを大切にしていきたいと思います。保護者の皆様、地域の皆様の御支援、御協力をよろしくお願いします。

人と人との出会いは不思議です。あのとき、あの場所にいなかったら、あのとき、あんなことしていなかったら、出会いについて、こんなふうに思うことがよくあります。振り返ってみますと、まるで決まっていたことのように思えたりします。でも、そんなことが決まっているわけがなく、これから先どんな人と出会って、どんなことが起こるのかなんて絶対にわかりません。だから、人生は楽しいのでしょうか。出会ったことで自分の人生が変わることもあります。出会いが人の心を動かしているのですから、偶然なのか必然なのか、それが重なってかけがえのない素敵なものになっているのです。そんな人との出会いを大切にしていきたいものです。

そして、人と自然との出会いも大切にしたいものです。四季折々に変化する山々に抱かれ、小鳥の囀りが聞こえる静かな環境や富士川の瀬音を聞きながら眺めることのできる雪峰富士等、当たり前の見慣れた風景。この中で子どもたちは暮らし、育っています。ヤゴやカブトつむりを捕まえて教室で飼育したり。キリギリスを佈々捕まえ、後ろ足のジャンプ力に驚いた子。プールでゲンゴロウや水カマキリを捕まえては、羽根の美しさやスイスイ泳ぐ姿に心を奪われたことにもあるでしょう。

こうした自然の中の出来事の一つ一つが、心の奥底に、今、蓄えられているのだと思います。将来、海外を飛び回るような仕事をする子もいるはずです。そんな日々の中、ほっとした時間に思い出すのは、今、蓄えられている原風景でしょう。

私がみなさんと同じ小学生だった頃、K子ちゃんとの出会いにより生き物好きになりました。近くの川にザリガニ釣りに行き、ザリガニがバケツいっぱいになるとまた元の川に戻して帰るという毎日でした。餌を変えたり、糸の引き方を変えたりしてザリガニ釣りの名人になりました。ザリガニがドジョウになったり、タニシやサワガニ、イナゴ、キリギリスになり、本当によく遊びました。

ある日、家の井戸の近くに小さな池を掘って、底にビニルを貼り、ザリガニをたくさん飼うことにしました。きれいな水の中ではさみを持ち上げるザリガニを見ていると、時間の経つのも忘れてしまうほど魅せられていました。学校に行っても、今日は早く帰ってザリガニと遊ぼうと決めた日は、授業どころではありません。真っ先に走って帰りました。ところが、夏の暑い日に、いつものように池を見に行くと水がなくなり、暑さでザリガニが全滅していたのです。身勝手な自分が情けなく、泣いて、泣いて・・・・・。それからというものザリガニ釣りはやめました。その川は、今は中部横断道の側道建設ために埋め立てられてしまいましたが、近くに行くとあの頃を思い出します。K子ちゃんは、もう10年以上も前に病気でなくなってしまいましたが、彼女と一緒に野山を駆け回ったあの頃のことを思うと、穏やかな気持ちになることができます。

最近は、学校に出勤して駐車場から富士川を臨み、今日はどんな出会いがあるのかなあと考えながら校舎に入ります。文集「せおと５３号」は、人生の原風景を蓄えている真っ只中にいる子どもたち一人一人が、気づき、さわっていじり、体験した思い出のひとこまひとこまがたくさん詰まった文集です。ふるさと中部の景色とともに成長の一端の記録集となることを願っております。

平成二十四年度の本校職員一同です。

新任職員は、鼻延中学校よりお迎えした深澤明香先生です。趣味は、ピアノ演奏と歌唱です。一年間よろしくお願いします。

４月５日には、児童全員で通学路の安全点検、自転車で走ってよい道路の確認、ふれあい１１０番の家の場所の確認を行いました。今年度から町内の６年生は全員が帽子のついた黄色い帽子を着用しています。６年生自身は勿論のこと下級生が安全に登下校できるように気を配り、最上級生としての自覚を持ってしっかり指導をしていきます。

司書の村松先生による春に関わる本の紹介です。かがくの友「さくら」、日本昔話「花咲じいさ」のお話に聞き入っていました。

校庭の桜が満開になった４月１０日、お花見給食をしました。桜吹雪の舞う中で食べた給食はいつもよりおいしかったです。

私の意見を聞いてください！

中部小をもっともっとよい学校にするために！

みんなで仲よく協力しあう学校にしよう。

けんかをなくして、仲を深めてよい学校にしよう。

中部小はいろいろなことができる学校だと知ってもらうために、多くの人に話しかけよう。

自分から進んで行動しないと始まらないので、できることからすすんでしよう。

悩んでいる人の悩みを聞いてあげよう。みんなで楽しんだり、助け合ったりしよう。

中部小の伝統であるあいさつを地域の人にすすんでしよう。

一人であそんでいる人をさそって、みんなで遊ぼう。

みんなと仲良くなってけんかを少なくしよう。そして、たのしくやっていこう。

中部小の伝統である「あいさつ」を地域の人にもしていこう。

みんなでなかよくしよう。そして、協力していこう。

班長やリーダー、目上の人のいうことをよく聞いて、実行しよう。

11人みんなでがんばります。

朝のあいさつ運動

富士川町青少年育成町民会議の皆様が、登校時に子どもたちと明るい挨拶を交わし合い、あいさつ運動を呼びかけてくださいました。古部・深澤青少年育成町民会議副会長さんと堀口教育長さんが早朝よりこの運動に参加してくださいました。

大きな声で挨拶をすることは本校の伝統ですので、今後も引き続いて取り組んでいきましょう。

修学旅行に行ってきました！

上野公園では、みんなでお弁当を食べました！おいしかったよ。カラスに唐揚げをとられてしまった友だちもいました。かわいそう

参議院議員席の座り心地はいいなあ！大臣になろう！

鎌倉の宿舎の夕食は海の幸とハンバーグ。完食

三日目はディズニーランド。おみやげをたくさん買いました。最高